歴史総合-DX

 **1889年（明治22）大日本帝国憲法の発布**

前年の1888年（明治21）4月には憲法制定にむけて天皇の諮問機関として枢密院が設置され、伊藤博文が初代議長に就任し、同月には第2代内閣総理大臣に旧薩摩藩出身の黒田清隆が就任し、黒田内閣が成立、 9月には翌年（1889年）の議会開設に向けて帝国議事堂（初代）が着工となり、1889年（明治22）2月11日の 紀元節に国民が待ちに待った大日本帝国憲法が公布され、前月に竣工した新築の皇居（明治宮殿、1889～1945）で大日本帝国憲法・貴族院令の発布式が開催された。また、この日の各地の記念式典では、全国民が等しく高唱して憲法発布を祝えるようにと旧來の万歳「まんせい」の読みを東北地方の国民も発音しやすいように「ばんざい」と改められたが、2月にはクリス チャンの文部大臣・森有礼が暗殺され、外務大臣の大隈重信が襲撃されるなど、黒田内閣は試練にさらされることとなった。11月には第3次山縣内閣が組閣し、12月には自由民権派の板垣退助が「愛国公党」（板垣退助・党首）を結成した。